

研修番号 1	
研 修 科 目 名	コンフリクトマネジメント研修
研 修 目 的	職場や部門間で発生する対立を適切に管理し、建設的な解決へ導くコンフリクトマネジメントスキルを学び、円滑な組織運営を目指す。
受 講 対 象 者	係長クラス
受 講 人 数	約 36 名／1 回
研修希望日時	令和 8 年 7 月 14 日 (火)／9:00～17:00 (12:00～13:00 は休憩)
予定実施回数	1 回
研 修 方 法	・ 対面による集合研修。 ・ 講義と演習(個人ワークとグループ(2名以上)ワーク)を組み合わせること。 ・ グループワークでは、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研 修 内 容	・ 対立が発生する理由や仕組みを理解する。 ・ 感情をコントロールし、相手の立場を理解し解決に結びつけるコミュニケーションスキルを身につける。 ・ 双方が納得できるよう調整し、合意形成、解決策に導くスキルを身につける。
留 意 事 項	・ 対立を建設的な解決策へ導く手法を修得することで、マネジメント能力を向上させ、職員の力をより掛け合わせられるような内容とすること。 ・ 提案する研修内容に独自の特徴ある内容(受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項)がある場合は、それを明記すること。

研修番号 2	
研 修 科 目 名	部下を育てる業務マネジメント研修
研 修 目 的	部下の能力を高め、活躍できる人材へ成長を促す部下育成スキルを学び、組織の活性化と効率的な業務遂行を目指す。
受 講 対 象 者	係長クラス
受 講 人 数	約 36 名／1 回
研修希望日時	令和 8 年 8 月 5 日 (水)／9:00～17:00 (12:00～13:00 は休憩)
予定実施回数	1 回
研 修 方 法	・ 対面による集合研修。 ・ 講義と演習(個人ワークとグループ(2名以上)ワーク)を組み合わせること。 ・ グループワークでは、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研 修 内 容	・ リーダーと部下の関係のあり方と、部下を育成するメリットを理解する。 ・ 部下の育成と業務マネジメントの遂行の両面から、仕事の与え方、指示の出し方、フォロー等の手法を身につける。 ・ 部下が成長し、自発的に仕事に取り組むための指導方法を身につける。
留 意 事 項	・ 業務の中で、部下の能力を高め、成長を促すためのスキルを修得することで、マネジメント能力を向上させ、職員の力をより掛け合わせられるような内容とすること。 ・ 提案する研修内容に独自の特色ある内容（受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項）がある場合は、それを明記すること。

研修番号 3	
研 修 科 目 名	組織マネジメントと部下統率研修
研 修 目 的	組織を円滑・効率的に機能させるマネジメントとその際の部下統率・育成を主眼としたリーダーシップのスキルを学び、管理者能力の向上を目指す。
受 講 対 象 者	課長クラス
受 講 人 数	約 3 6 名／1 回
研修希望日時	令和 8 年 7 月 1 日（水）／9:00～17:00（12:00～13:00 は休憩）
予定実施回数	1 回
研 修 方 法	・ 対面による集合研修。 ・ 講義と演習（個人ワークとグループ（2 名以上）ワーク）を組み合わせること。 ・ グループワークでは、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研 修 内 容	・ 組織目標の達成に向けたマネジメント手法を身につける。 ・ 風通しの良い組織を構築するためのマネジメント手法を身につける。 ・ 部下の統率と育成に向けた、状況に応じた最適なリーダーシップの発揮の仕方を理解する。
留 意 事 項	・ 部下を統率して組織を発展させるスキルを修得することで、マネジメント能力を向上させ、職員の力をより掛け合わせられるような内容とすること。 ・ 提案する研修内容に独自の特色ある内容（受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項）がある場合は、それを明記すること。